

自立運転の操作

停電時(自立運転を始める)



停電になったら自立運転に切り換えます。
※自動/手動切換設定を「自動切換」に設定している場合には、操作は不要です。

停電が発生するとネットリモコンのブザーが鳴り、「自立/連系切換」画面に停電発生のお知らせが表示されます。

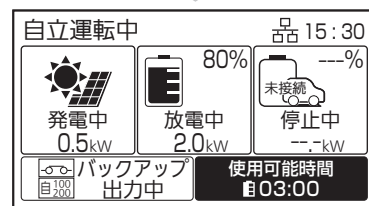
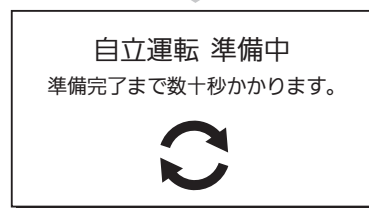
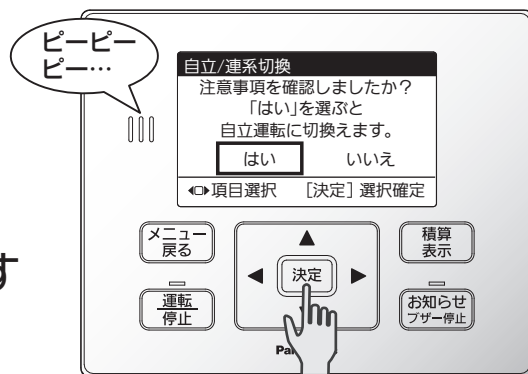
※操作がなければブザーは1分間で自動停止します。
5時間ごとに再度鳴ります。
ただし夜間の21時~7時は鳴りません。

1 表示画面を確認しながら、「決定」を押す

注意のメッセージを確認の上、操作してください。
ブザーが停止し、「自立運転 準備中」になります。

2 「自立運転中」に切り換わることを確認する

バックアップ回路または自立運転コンセントに電気が流れ始めます。
※電力切替ユニットを設置している場合、切り換え時に電力切替ユニットから1回動作音(約85 dB)がします。
※電力切替ユニット(60 Aタイプ/100 Aタイプ)を分電盤一次側設置で使用している場合、通常時(連系運転時)に使用しているコンセントから電気が流れます。自立運転時には、使用機器が多すぎると保護機能が働き、自立運転を停止することがあります。



基本の使いかた

すぐに自立運転に切り換えたくないときは

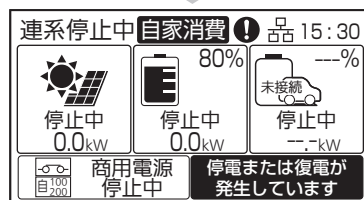
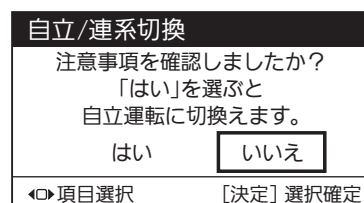
1 ▶ で「いいえ」を選択して「決定」を押す

「連系停止中」に切り換わり、お知らせアイコン❗と、「停電または復電が発生しています」が表示されます。

2 後で自立運転に切り換えたいときには

停電または復電が発生していますが表示されている時に **お知らせブザー停止** を押す

「自立/連系切換」画面(右上の画面)に戻ります。



自立運転の操作(つづき)

停電復旧時(連系運転へ戻す)

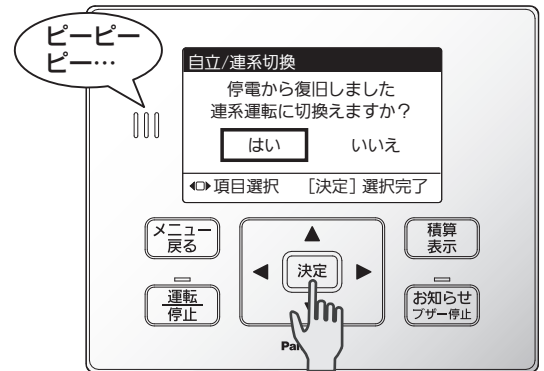


停電が復旧したら元どおり連系運転に切り換えます。
 ※自動/手動切換設定を「自動切換」に設定している場合には、操作は不要です。

停電が復旧すると、ネットリモコンのブザーが鳴り「自立/連系切換」画面に復旧のお知らせが表示されます。

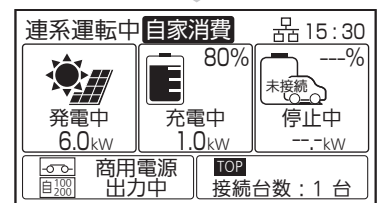
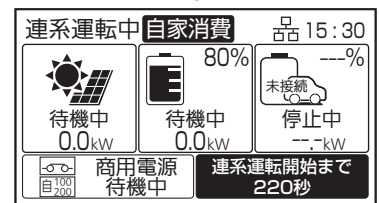
1 「はい」を選択して **決定** を押す

- ※約5分後に連系運転を開始します。
- 電力切替ユニットなしの場合、自立運転コンセントには電気が流れなくなりますので、差し換えてください。
- ※電力切替ユニットを設置している場合、切り換え時に電力切替ユニットから1回動作音(約85 dB)がします。



2 復電タイマー表示後、「連系運転中」に切り換わることを確認する

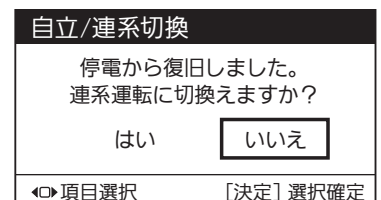
- ※復電タイマーの時間は、電力会社が定める整定値の設定によって異なります。
- ※停電復旧からしばらくして、連系運転に切り換えると、復電タイマーが表示されないことがあります。



すぐに連系運転に切り換えたくないときは

1 ▶で「いいえ」を選択して **決定** を押す

「自立運転中」のまま、お知らせアイコン❗と、「停電または復電が発生しています」が表示されます。
 ※この状態では太陽光発電電力の売電はできません。
 できる限り早く連系運転に切り換えてください。

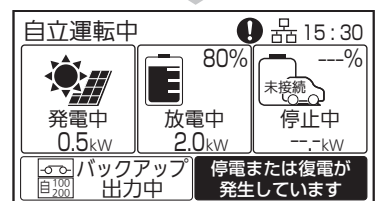


2 後で連系運転に切り換えたいときには

停電または復電が発生しています

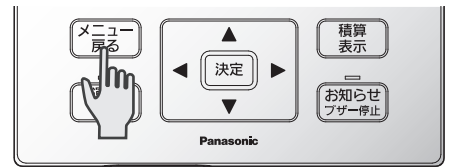
が表示されている時に **お知らせブザー停止** を押す

「自立/連系切換」画面(右上の画面)に戻ります。



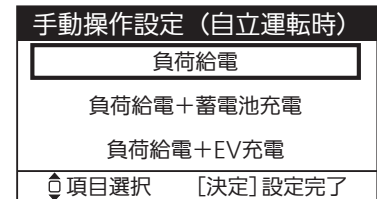
自立運転時の手動操作

- 1 トップ画面で を押し、 と を操作する



メニュー (1/3) > 手動操作/V2H操作設定 > 手動操作設定
へ進みます。

- 2 で行いたい手動操作を選択して を押す



負荷給電

太陽光発電および蓄電池から負荷に給電します。

EVからも給電する場合は、V2Hスタンドの充放電コネクタをEVに接続(32 ページ参照)し、コネクタロック操作(48 ページ参照)をロックに設定してください。「充放電優先度設定」(57 ページ参照)で設定した電力割合で、EVからも負荷に給電します。

負荷給電+蓄電池充電

太陽光発電から負荷に給電するとともに、蓄電池を充電します。

EVからも給電および充電する場合は、V2Hスタンドの充放電コネクタをEVに接続(32 ページ参照)し、コネクタロック操作(48 ページ参照)をロックに設定してください。

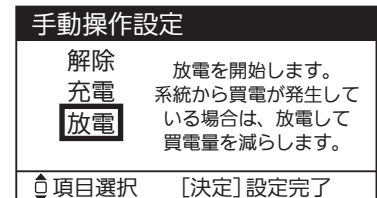
負荷給電+EV充電

太陽光発電および蓄電池から負荷に給電するとともに、EVを充電します。

V2Hスタンドの充放電コネクタをEVに接続(32 ページ参照)し、コネクタロック操作(48 ページ参照)をロックに設定してください。

蓄電池ユニットを設置していない場合

- 太陽光発電から負荷に給電します。また、EVから負荷への給電、および太陽光発電によるEVの充電も行うことができます。
- 太陽光発電が行われていないときに右の画面が表示される場合は、既にEVからシステムに給電が行われています。この状態でEV蓄電池残量が無くなると、システムは停止します。



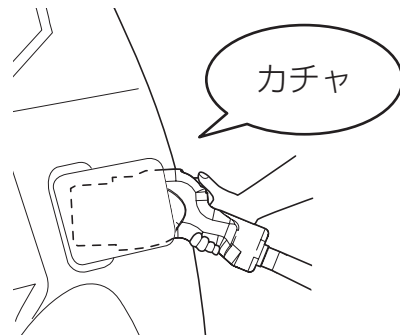
EVの電力でシステムを起動する

太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、V2Hスタンドの充放電コネクタがロックされていない状態(アンロック)で停電すると、システムが停止します。

このようなときは、アクセサリケーブルを用いてEVから給電することで、システムを起動できます。これを「停電時起動」と呼びます。

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 32 ページを確認してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2へ進んでください。



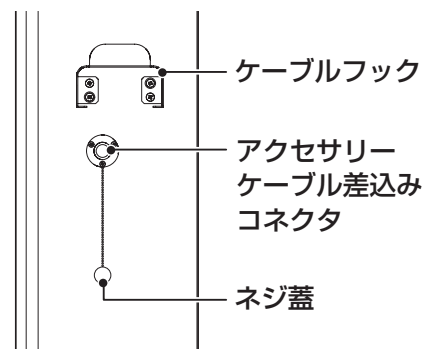
2 本体右側面にあるアクセサリケーブル 差し込みコネクタのネジ蓋を外し、 付属のアクセサリケーブルを差し込む

ネジ蓋は反時計回りに回して外してください。
アクセサリケーブルの屋外用防水コネクタ側を差し込んでください。

アクセサリケーブル



本体右側面



- 雨天時などは、アクセサリケーブルのコネクタ(屋外用防水コネクタおよび差し込みコネクタ)に水分が付かないようにご注意ください

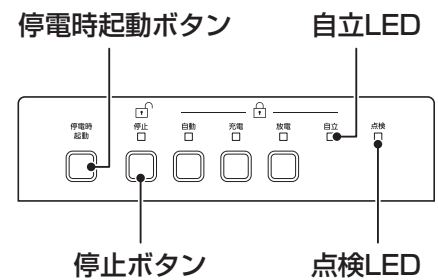
3 アクセサリケーブルの差し込みコネクタをEVの 電源ソケットに差し込み、EVのソケットスイッチをONにする

アクセサリケーブルはEVの窓に通してください。
電源ソケットの位置、アクセサリケーブルの差し込み方、およびソケットスイッチの
位置・操作方法については、EVの取扱説明書をご確認ください。

4 操作部の停電時起動ボタンを押す

EVからの放電が開始されるとV2Hスタンドが起動し、自立LEDが赤色に点滅します。

- 点検LEDが点滅している場合は、停電時起動を実施できない場合があります。停止ボタンを10秒以上長押しして点検LEDの点滅を消してから、再び停電時起動ボタンを押してください。それでも実施できない場合は、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外して、V2HスタンドのLEDが消灯するまで(3分程度)待ってから、やり直してください。



5 自立LEDの点灯(赤色)を確認したあと、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外す

システムが起動し、ネットリモコンで操作可能になります。
停電中は自立運転を行います。
自立運転の詳しい説明は35~41ページをご確認ください。

- EV側の電力を消費しますので、起動後はEVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外してください。

6 アクセサリケーブル差込みコネクタのネジ蓋を確実に閉める